

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		内藤 重之	所 属		農学部	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.45	学部担当科目については資料を配布するとともに、ビデオ視聴や現地見学等を取り入れて理解しやすい講義を行う。授業終了時に学生から質問と感想を提出してもらい授業の改善に努める。大学院担当科目については意見交換を行い受講生の問題関心に沿った授業を行う。また、都市農村交流や食料流通等に関する研究成果を授業に反映させる。			0.45	学部担当科目、大学院担当科目ともに目標を達成できたが、学生の感想等を参考にしながら今後さらに授業を充実させていきたい。		
研究	0.40	科研費の研究分担課題および公募研究の調査研究を遂行するとともに、研究成果を学会において報告し、学会誌へ論文を投稿する。また、共著書を執筆し、年度内の公刊を目指す。さらに、日本農業市場学会の理事、食農資源経済学会の理事兼地区幹事、沖縄農業経済学会の理事兼事務局、農業理論研究会の事務局としての役割をそれぞれ果たす。			0.40	科研費および受託研究の調査研究を計画どおり遂行できた。その研究成果を日本農業市場学会において発表した。また、投稿論文が学会誌『農業市場研究』に掲載された。さらに、共著書『「農の付加価値を高める六次産業化の実践」』の分担執筆を行い、公刊された。各学会や研究会の役員等としての役割を果たすなど、目標を達成できた。		
社会貢献	0.05	沖縄県卸売市場審議会の会長、沖縄県有機農業推進協議会委員および沖縄県経営構造対策推進協議会委員、内閣府沖縄総合事務局の委員(3)として、それぞれ役割を果たす。また、農業・農村振興に貢献できるように、要請があれば積極的に研究会等に参画して講演したり、相談に応じたりする。			0.07	新たに沖縄県農地・水・環境保全対策第三者委員会、沖縄県プレミアム加工品開発支援事業推進委員会、持続的な漁業生産額拡大のためのマーケティング支援委託事業推進委員会、うるま市農水産業振興戦略拠点施設事業協議会の委員を務めるなど、目標以上に各委員会や協議会等の委員としての役割を果たすことができたと考えている。		
管理運営	0.08	全学的な委員会である琉球大学情報公開委員会、大学教育改善等委員会の委員として、また農学部のFD委員会の委員長、教育委員会、亜熱帯フィールド科学教育研究センター運営委員会の委員として、それぞれ責務を果たす。			0.06	授業の関係で出席できなかった委員会もあったが、目標どおり責務を果たせたと考えている。		
進路指導	0.02	研究室の学生や担当科目の受講生等に対して進路(進学・就職)についてのアドバイスを積極的に行う。			0.02	研究室の学生や担当科目の受講生に対して進路についてのアドバイスを積極的に行った。また、指導教員をしている2年次の学生に対しても進路相談を行うなど目標を達成したと考えている。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		仲間 勇栄	所 属	亜熱帯地域農学科	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.30	学部や大学院の教育では、各カリキュラムの講義をとおして、学生の専門知識と、より実践的な問題解決能力を高める。自らのFDの向上を目指す。		0.30	学部や大学院の教育では、授業やゼミやフィールド調査を通して、学生の実践的な問題解決能力を高め、授業のFDの向上をほぼ目標設定どおりできた。	
研究	0.30	他大学の教員とともに科研の共同研究を行い、国際学会での発表、レフリー付研究論文の採択を目指す。連大学生のレフリー論文の受理を目指す。研究著書の出版に取り組む。		0.30	科研のフィールド調査は計画どおり進んだ。国際誌Small Scale Forestryに共同の1編の論文が掲載された。連大学生のレフリー論文を提出し、現在査読中である。研究著書の進捗は7割の出来である。	
社会貢献	0.20	沖縄県の森林審議会の会長として、委員会を通じて、沖縄の森林・林業行政に貢献する。その他、講演等の依頼があれば可能な限り対応する。		0.20	2013年12月と2014年の2月に森林審議会を開催し、会長としての職務を遂行した。2013年11月の「防風林の日」(県農林水産部主催)と同年12月の琉球大学沖縄国際研究所主催のシンポジウムで、それぞれ講演を行った。2014年2月本部町備瀬部落主催のフクギ講演会を行った。	
管理運営	0.10	大学内の各種委員会に出席し、大学運営に努める。		0.10	農学部学術報告委員長として、第60号学術報告を編集した。	
進路指導	0.10	年次指導教員として、年1~2回懇談会を開き、生活指導を行う。研究室の学生には、ゼミや研究指導を通じて進路指導を行う。		0.10	学部学生2名、大学院生1名の進路について相談を受け、推薦書の作成、沖縄県庁臨時職員への紹介等を行った。	
	0.00			0.00		
計	1.00			1.00		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		木島 真志	所 属		農学部亜熱帯地域農学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.40	セミナー開催や授業を活用し、大局的な視野に基づく判断能力・思考能力を養うための環境を整備する。最新の研究事例などの紹介を通して森林資源管理経営の重要性・面白さを伝える。留学希望者の支援及び、留学生の支援を積極的に行う。さらに、発展途上国(ネパール、カンボジア)における教育支援として、モデリングのワークショップで講義する。			0.45	今年度は学内の授業に加えて、発展途上国における教育支援(ネパール、カンボジア)も積極的に行った。これら発展途上国で開催したワークショップで得た経験を、学内の授業に反映させることで学部担当科目、大学院担当科目の内容がより充実したものになった。また、定期的に行っている森林資源管理セミナーも第4・5回を5月、10月にそれぞれ開催した。		
研究	0.40	科研費の研究代表1課題、研究分担1課題の調査研究および、国内外における他大学・他研究機関と進行中の共同研究(チェコ、韓国、トルコ、統計数理研究所)を遂行し、その成果を国内外での学会発表にて積極的に行い、学会誌へ投稿する。			0.35	科研費および学外の共同研究をほぼ計画どおり遂行できた。その研究成果の一部を国際誌に発表した。		
社会貢献	0.08	学外の審議会等へ参加し、積極的に情報交換を行う。 国内外の学会・研究会の運営・参加を積極的に行う。			0.08	目標どおり学外の審議会や学会・研究会の運営を積極的に行い、委員としての役割を果たすことができたと考えている。		
管理運営	0.08	予算委員としての責務を果たす。 広報委員として、学外に琉大農学部の魅力をアピールする。 その他委員としての責務を果たす。			0.08	目標どおり責務を果たせたと考えている。		
進路指導	0.04	進学・就職などの進路についてアドバイスを積極的に行う。			0.04	研究室の学生を中心に進路についてのアドバイスを積極的に行った(2名:就職, 2名:大学院進学)。ただし、今年度はまだ研究室所属の4年次1名の進路が決まっていないので、引き続き指導を行っていきたい。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		嬉野 健次	所 属		農学部	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果			
教育	0.30	・担当講義について、学生が理解しやすいように写真をもちいたりして資料の作成を工夫する。学生が本実験の意義を理解したかを判断するため毎回小テストを課す。		0.30	・作成した資料に基づいて講義を行った。また、学生が講義および実験実習の内容について、どのくらい理解したかを把握するため、講義では、毎回小試験を行い、実験については、レポート課題を出し、習熟度を把握した。			
研究	0.30	・本年度、科学研究費で採択されたテーマについて、実験を実施する。また、その内容については、学会発表を行う。また、九州大学との共同研究についても実験を行う。		0.30	・科研費で採択された研究内容について、園芸学会春季大会で発表を行った。また、九州大学農学部園芸学研究室との共同研究(ツツジ花卉のカロテノイド分析、台湾ヤマツツジの地理的変異に関する研究)について、研究の遂行および打ち合わせを行った。			
社会 貢献	0.10	・園芸学会雑誌(英文誌)の編集委員およびシンポジウム委員を担当する。新聞社などからの植物に関する問い合わせに対応する。		0.20	・園芸学会雑誌(英文誌)の編集委員として、論文審査および編集作業を担当した。また、園芸学会シンポジウム委員としてシンポジウムの企画を行った。			
管理 運営	0.20	・農学部各種委員会のうち、担当した委員の任務を遂行する。		0.10	・農学部各種委員会のうち、担当している委員の業務を行った。1年次のクラス担任として、クラス懇談会を行った。			
進路 指導	0.10	・研究室の学生の進路の相談にのる。		0.10	・ゼミなどの時間を通じ、学生の進路指導の相談にのった。また、就職センターの情報を随時指導学生に提供した。			
	0.00			0.00				
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		佐野文子	所 属		農学部 亜熱帯地域農学科 動物生産科学分野 家畜衛生学講座	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.35	家畜衛生学および微生物学の教育を通じて、食の安全、畜産従事者の健康などについての意識の向上を目標とした教育を行う。基本から丁寧に説明しわかりやすい講義を心がける。学生が楽しみながら興味を引き出す工夫をする。			0.35	概ね達成できた。		
研究	0.25	家畜衛生学領域を意識した人獣共通感染症、特に真菌を原因菌とする感染症に関する研究およびその成果発表を国内外の研究者との共同研究を推進する。			0.25	概ね達成できた。		
社会貢献	0.20	獣医師としての感染症対策などに関する啓発活動および医師、獣医師などからの検体の診断サービスをおこなう。日本菌学会、日本医真菌学会での評議員として学会活動に貢献する。 獣医師会へ感染症対策へのアドバイスをを行う。			0.20	概ね達成できた。		
管理運営	0.10	教室運営および大学内の各種役割への積極的に参加する。特に教室に所属する学生の安全への配慮を重視する。			0.10	概ね達成できた。		
進路指導	0.10	動物取り扱い業務を含む関連領域への就職活動アドバイスを行う。研究者志向の学生には研究の魅力と大学院生活およびその後の進路概略について、希望を持って進めるようなアドバイスを行う。			0.10	該当する学生不在のため、評価できない。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前	川本 康博		所 属	農学部 亜熱帯地域農学科		職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト 比(実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.20	前期:学部担当科目([人口と食糧(1コマ担当)循環畜産学[4コマ分担], 家畜環境管理学(7コマ担当), 熱帯草地学実験, 卒業論文I・II), 後期:熱帯草地学, 草地生産管理学, 人口と食糧[3コマ分担])を担当すると共に, 研究科担当科目(熱帯草地学特論, 特別研究, 亜熱帯農学特別演習), 連合大学院科目(動物資源生産科学特別講義[2コマ分担])についてシラバスに沿って講義を行う。		0.20	一部, シラバスに沿っていない箇所もあったが, 概ね目標を達成した。		
研究	0.25	大学院修士課程, 並びに博士課程の学生と共にそれぞれの研究内容に沿った2~3の研究論文の採択を目指す。外部資金(1~2事業)を獲得し, 関連組織との共同研究を継続・開発し, 農業振興につながる技術の研究開発に努める。		0.30	指導学生の投稿論文2報が受理された。外部資金(4事業)を獲得し, 共同研究を進めた。		
社会貢献	0.10	沖縄県, 県畜産振興公社, 沖縄総合事務局から依頼される推進会議並びに調査等の兼業を行うと共に, 県内農家・農業団体, 一般・高校生に対し, これまでの研究成果等の普及を推進し, 産学連携事業を進めることによって社会貢献を行う。また, 国際協力機構の研修コース(2つの研修プログラム)と, 鹿児島大学の非常勤講師を務める。		0.05	今年度は沖縄県, 県畜産振興公社, 沖縄総合事務局からの兼業は少なく, 講演・指導等の社会貢献の機会も少なく, 農業高校への出前講義1件のみであった。例年通り, 国際協力機構の研修コースの講師と, 鹿児島大学の非常勤講師を務めた。		
管理運営	0.40	農学部長としての職責上の業務を遂行する。併せて, 全学, 学部の関連委員を務める。		0.40	農学部長としての職責上の業務を遂行した。併せて, 全学, 学部の関連委員を務める。		
進路指導	0.05	インターンシップ(現業実習)を海外の大学等とも連携して行うようなプログラムを作成し, 手続きを調整する。学部, 農学研究科(琉球大学, 鹿児島大学連合)の卒業・修了生の就職率向上に努める。		0.05	インターンシップ(現業実習)を海外の大学(グアム大学)とも連携して行うようなプログラムを作成し, 実施した。学部, 農学研究科(琉球大学, 鹿児島大学連合)の卒業・修了生の就職率向上に継続して進めている。		
	0.00			0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		玉城 政信	所 属		農学部附属フィールド科学センター	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	学部担当科目(畜産共生技術論、フィールド実習Ⅱ、基礎フィールド実習1~5組および卒業論文など)を担当し、熱帯・亜熱帯地域である沖縄の地域特性を踏まえた講義を実施する。特に実習では農業の基礎を理解できるように務める。			0.30	学部教育に関しては、熱帯・亜熱帯地域である沖縄の地域特性を踏まえた講義ができた。特に実習では農業の基礎である「鋤」「鎌」「牛とのふれあい」を取り組み理解させ得た。		
研究	0.10	沖縄の地域特性を踏まえた実社会で利用可能な研究開発および調査に努め、その成果を学会誌へ投稿する。			0.10	2報を準備しており、1報は投稿中で、残り1報は投稿準備中である。		
社会 貢献	0.10	1)日本暖地畜産学会運営へ積極的に取り組む。 2)沖縄畜産研究会の活動、研究会の開催に取り組む。 3)指導機関と共同で研究成果を普及・応用し、社会貢献を行う。 4)地元、沖縄県の産業振興に貢献する。			0.12	日本暖地畜産学会、沖縄畜産研究会のメンバーとして積極的に取り組んだ。各機関が開催する畜産関係の講習会に参加し、社会貢献を実施した。		
管理 運営	0.45	1)フィールド科学教育研究センターの運営を効率的に実施する。 2)各種委員会の活動を積極的に行う。			0.40	フィールド科学教育研究センターの運営で、予算管理、放牧場整備、のり面管理、ギンネム処理及びセンター内整備を行った。各種委員会へは、他活動との時間割り振りの関係で完全な出席はできなかったが、可能な限り出席し貢献した。		
進路 指導	0.05	1)年次指導教員(3年次)として進路指導等に取り組む。 2)就職支援のために県内畜産関係企業等への見学を積極的に行う。なお、進路指導についても対応する。			0.08	学生をJA、畜産関係団体及び農家等の調査や見学を通してバックアップした。3年次指導教員としての学生からの相談が増えてきており、積極的に対応した。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		モハメド アムザド ホサイン	所 属		農学部附属フィールド科学センター	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	1. 学部担当科目(基礎フィールド実習1~5組、外国文献講読および卒業論文)と大学院担当科目(亜熱帯農学特別演習、栽培実践学特論及び熱帯生物資源生産学)及び博士課程の研究指導を担当し、熱帯・亜熱帯地域である沖縄の地域特性を踏まえた講義を実施する。特に実習では農業の基礎を理解できるように務める。 2. 授業評価などの指摘、自らのアイディアに基づく授業の改善を行う。 3. 留学生への受け入れ及び指導を行う。			0.30	1. 熱帯・亜熱帯地域である沖縄の地域特性を踏まえ、学部担当科目(基礎フィールド実習1~5組、外国文献講読)、大学院担当科目(亜熱帯農学特別演習、栽培実践学特論及び熱帯生物資源生産学など)、国際農学プログラム(Bioproduction)の講義、修士及び博士課程の研究指導を実施した。実習では農業の基礎を理解できるよう務めた。 2. 授業評価などの指摘、自らのアイディアに基づき、授業内容の改善を行った。 3. 国費留学生への受け入れにつき、書類作成、提出を行った。		
研究	0.25	1. 卒業論文、修士課程及び博士課程の学生の研究を行い、その成果として国内外の学会において発表を行い、また学会誌への投稿も行う。 2. 外部資金に関連したウコン栽培に関する研究を実施する。 3. ウコンの有機栽培に関する研究を行う。またその成果を周辺地域に提供する。 4. 上記研究の成果を学会で発表する。			0.25	1. 修士課程及び博士課程の学生の研究指導を行い、その成果として国内外の学会において発表を、また学会誌への投稿を行った。 2. 外部資金に関連したウコン栽培に関する研究を継続的に実施した。 3. ウコンの有機栽培に関する研究を継続的に行った。またその成果、情報を周辺地域の農家に対してに提供した。 4. 上記研究の成果を他大学及びアグリビジネスフェアーなど外部で発表を行った。		
社会貢献	0.15	1. 国内及び国際学会で編集員として活動する。 2. 地域の植物に関する教育に貢献する。 3. 国内外からの訪問者及び研究者に熱帯・亜熱帯地域の作物に関する情報を提供する。 4. 地域の農家及び企業の発展の為、技術指導を行う。			0.15	1. 国内及び国際学会で編集員として活動した。 2. 近隣の小学生を対象にウコンやオクラの栽培状況及び収穫に関する教育・指導をお行った。 3. 学内の他研究室及び海外からの訪問者及び研究者に熱帯・亜熱帯地域の作物に関する情報を提供した。 4. 沖縄県内のウコン農家をはじめ、沖縄ゴールデンファーム社、琉球バイオリソース社及び複数の企業に対し、ウコンに関する講義・技術指導を行った。		
管理運営	0.20	1. 学内の委員会(4)へ積極的に参加する。 2. 所属部局及び所属学科の管理運営に貢献する。 3. フィールドセンターの圃場グループ全体の管理・運営を行う。 4. 修士及び博士課程の入試に関連する業務を行う。			0.20	1. 学内の委員会へ積極的に参加した。 2. 所属部局、所属学科の管理運営に携わった。 3. フィールドセンターの圃場グループ全体の管理・運営を行った。 4. 修士及び博士課程の入試に関連する業務を行った。		
進路指導	0.10	1. 学生の教育、研究と就職に関する助言、指導を行う。 2. 学生の生活における相談に乗る。			0.10	1. 学生の教育、研究と就職に関する助言、指導を行った。 2. 学生の生活における相談に乗り、助言・指導を行った。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		平山琢二	所 属		農学部亜熱帯地域農学科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年次指導教員として学生の指導を積極的に行う。</li> <li>・担当科目(基礎フィールド実習、農業実践論、畜産周辺学)を担当(一部分担)し、農林情報および畜産に関する教育を行う。</li> </ul>			0.25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年次指導教員として学生の単位取得状況などの指導を行った。</li> <li>・担当科目(基礎フィールド実習、農業実践論、畜産周辺学)を担当(一部分担)し、農林情報および畜産に関する教育を行った。</li> </ul>		
研究	0.25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学会、研究集会等での発表、論文投稿を積極的に行う。</li> <li>・科研費やその他の外部資金を獲得するよう積極的に申請・応募する。</li> </ul>			0.25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学術論文(査読有り3件、査読無し1件)として計4件を投稿・受理された。</li> <li>・科研費(基盤B・分担)を獲得した。</li> </ul>		
社会貢献	0.20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連企業との共同研究の成果を実製品に応用し、社会貢献を積極的に行う。</li> <li>・研究成果を地域へ普及するための各種勉強会などで講演を積極的に行う。</li> </ul>			0.20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域産業への貢献として講演会を計4回行った。</li> <li>・韓国(Kayng Hee UNIV)から学生12名を1週間、受け入れ国際交流を行った。</li> </ul>		
管理運営	0.20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター運営を軸として、各種委員活動などを積極的に行う。</li> <li>・センターワークショップ開催に向けて積極的に活動する。</li> <li>・農林情報分野の管理運営(年報、概要、HPなどの維持管理)を行う。</li> </ul>			0.20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター運営を軸として、各種委員活動などを積極的に行った。</li> <li>・センターワークショップ(第11回)を開催した。</li> <li>・農林情報分野の管理運営(年報、HPなどの維持管理)を行った。</li> </ul>		
進路指導	0.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生からの進路および就職の相談に積極的に門戸を開く。</li> </ul>			0.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生からの進路および就職の相談を積極的に行った。</li> </ul>		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>			1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>		
<p>※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。</p>					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		高嶋敦史	所 属		農学部フィールドセンター	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	担当する講義や実習科目の質を向上させる。また、卒論・修論の指導では、研究の組み立てからデータの取得、解析、とりまとめに至る指導を適切に行う。			0.35	講義や実習では質の向上に努めたが、近年の新しい知見や技術の紹介まではできなかった。卒論指導は実質的にはじめてということもあり、研究の進め方等で各学生に適した効率的なデザインを示すことが難しかった。ただ、結果的には納得のいく卒論を作成してもらうことができた。		
研究	0.30	やんばる地域の亜熱帯性広葉樹林、および屋久島のヤクスギ林のモニタリングを継続する。またやんばる地域では、有用樹種の成長特性に関するデータ収集を重点的に行う。研究成果は、学会や論文で公表する。			0.20	やんばる地域や屋久島の森林モニタリングでは、年間のノルマを達成することができ、データの蓄積に繋がった。成果発表は、筆頭発表者としての学会発表が3月末までに計4件に達するが、論文の公表までには至らなかった。		
社会 貢献	0.15	公開講座等を通じ、やんばるの森の特徴や課題を地域に発信する。また、研修等の受け入れにも積極的に取り組む。			0.10	公開講座の実施や高校生の研修受け入れなどで、やんばるの森や与那フィールドを活用した社会貢献に取り組むことができた。		
管理 運営	0.15	与那フィールドにおける研究・教育利用の推進に努める。その際、フィールドが安全かつ円滑に利用されるよう、環境の整備に取り組む。また、職員が仕事に取り組みやすい職場づくりにも取り組む。			0.30	与那フィールド利用者の利用環境の改善に努めた。また、職員の就業モチベーションの向上に繋がる環境づくりにも力を注いだ。その他にも、教育関係共同利用拠点制度に関わる業務や、全国演習林協議会の業務にも取り組んだ。		
進路 指導	0.10	研究室に配属された学生や講義・実習等で関わる学生に対し、就職情報の提示と就職活動の進め方について随時アドバイスする。			0.05	研究室に配属されている学生をはじめ、与那フィールドなどで関わりのあった学生には、適宜進路に関するアドバイスを行うことができた。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>			1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			